

きょうと福祉倶楽部だより 2014年 夏号

7月7日は、二十四節気の1つである小暑(しょうしょ)です。小暑は、夏至と大暑の間を指します。このころから日差しが強くなり、日増しに暑くなると言われています。

ニニエ訓でも例外はなく、この数日間、蒸し暑いと声を連日聞くようになりましたが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

さて、暑さが厳しくなると、少しでも涼しくなりたいと誰もが思います。そのために、私たちは夏にどんなことをすれば良いのでしょうか。

たとえば『打ち水』。これは涼を求める昔の人々の知恵から生まれたもの。打ち水によって、地面の温度の上昇を抑え、まいた水が蒸発するときに周囲の気温を下げてくれます。

地球温暖化が深刻になっている今日。

打ち水も地球温暖化に一役担ってくれそうです。

さて、今回のおたより…

利用者さまの原稿です。先月号からのつづきをお楽しみください。

編集 n.



リフトとわたし 2

長井 秀美



リフトとわたし…つづき

リフトの一番の利点はヘルパーさんが身体を抱えたいりしないので、ヘルパーさん自身の身体にかかる負担がほほなくなったことと、私たちも安心してその介介護を受けられることです。それまではお互いに、抱える側も抱えてもらう側もはらはらしていましたが、リフト導入後はそうした不安な気持ちも解消しました。

また一方で、抱えないので力の弱い方も派遣が可能になり、派遣する側も派遣できる人材の幅が広がったこと、腰痛の心配がないので長期間安定して人材が確保できるという大きな利点も出てきました。



福祉業界は人手不足が深刻です。

そんな中で私のような障害者が、制度上は、ヘルパー派遣が可能としても、実際には見合う人材がいなくて派遣したくてもできないことが、実はリフトの導入により訪問できる場合もあるように思います。

特に日本は高齢化社会が進み、老老介護もしくは老障介護という言葉が昨今出てきています。大変年齢のいった高齢者や重い障害者を、比較的若くて体力のある高齢者が介護している現状です。実際に私に訪問されるヘルパーさんの中にも60歳を超えた現役の方もおられます。そうした現実を踏まえてもわかると思うのですが、リフトを導入することは長く在宅で暮らすため、いつかは必要になってくると思います。

しかし、現時点ではリフトをつける欠点もあります。



それはお金がかかるということです。私は京都市の住宅改修の名目という助成の枠で、トイレお風呂のリフトを設置しました。また上記以外にも自宅には移動式リフトをリフトの支給という名目で支給して頂きました。

リフトを身体につなぐ「吊り具」はずっと使用できるものではありませんが「吊り具」は、一度支給されると、後は自分で購入しなくてならない、もしくはリフトの点検は点検代も支給がありません。

またリフトの助成も京都市は全額を負担がないなど、公的機関がリフトの設置や導入について財政的にもっと支援してくれるように取り組んでほしいと思います。

また上記に書いた設置後のメンテナンス料も、全額もしくは一部の負担を公費で補ってほしいです。

このようにリフトの助成に、在宅で全額負担が公費からなされないという非常に厳しい事情から、リフトを敷設できない、そして介護者がそのために身体を痛めてやめていく、もしくは我慢して続けるが仕事を軽減することによって、人材が安定して確保できず、十分な支援が得られないという悪循環が、日本の在宅における介護現場の一部にあります。

寝たきりの人もリフトがあれば、訪問入浴でなく自宅のお風呂を利用できる。ベッドから車いすの移動が楽になり、車いすでの時間が大幅に増やせられるなど、リフトの導入により、生活がより充実した変化に富んだものへ変わることは、生活の質を向上させ、生きていく上で大変意義のあることではないでしょうか。

また、介護職の離職の要因の一つとして、腰痛等の問題。それを解消するには、全面的にリフトを設置し、抱える介護からくる腰痛での離職を少しでも減らすことが大切ではないでしょうか。

そうした在宅当事者の生活の質を上げ、上記の介護の悪循環を断ち切るには、最初に、公費におけるリフト等の福祉機器の支給について、財政的に抜本から見直していただくことから始めてほしいと思います。

※福祉倶楽部注 介護保険では2万円ですので費用負担は少額です。また点検は無償です。また吊り具も購入金額の9割が償還されます。

日本は豊かな国のはず？ 「豊かな国」で起きる悲劇はなぜ？

母さんが死んだーしあわせ幻想の時代に
(現代教養文庫―ベスト・ノンフィクション)
出版社: 社会思想社 (1994/03)
ISBN-10: 4390114689



日本は豊かな国のはずである。
その豊かであるはずの日本で今も
多くの人がいのちを守る役割を担う
行政の支援が受けられずに死に至って
いる。
この本は87年1月に札幌で起き
たシングルマザー餓死事件のルポ
ルタージュだ。小学生から中学生まで
3人の子どもを抱える39歳の女性は、
生活保護の申請を何度も断られ、自宅で
餓死死体となって発見された。

彼女はドメスティックバイオレンスから逃れて懸命に子供と共に生きてきた。決して怠け者ではない。その懸命に生きた命を守ろうともせず死に追いやる日本は本当に豊かな国と言えるのだろうか？
生活保護は生活の困窮状態にある国民は誰でも受給する権利を持つはずである。
だが、彼女は助けを求めたにもかかわらずその声はかき消された。そして悲劇が起こったのだ。27年前は札幌市の「違法」運用があった。それは多くの社会福祉に関わる人々の批判を招いた。そして今、国は違法であった運用を法「改正」で敷居を上げて「受けにくい」制度をさらに受けにくいものへ変化をさせている。

この本は生活保護制度が本来持つ役割を鮮明に描くと同時に、いのちを守るためにある法律の魂を抜こうとする者たちに対する厳しい批判でもある。

ホームページをリニューアルしました
きょうと福祉倶楽部で 検索
スタッフブログもぜひ読んでください

体が不自由だって楽しみたい！

体が不自由になると元気な頃はあたりまえだった旅行も我慢しなきゃとなりがちです。
ですが、場所の選定によっては体が不自由でも楽しめる場所があります。

おすすめの宿泊先として…

「浜坂温泉保養荘」
兵庫県美方郡新温泉町浜坂 775
TEL 0796-82-3645

<http://www.hamasaka-ni.com/index.html>

をご紹介します。

この施設は障害がある方が利用できるような様々な工夫がされています。
まずは、温泉です。その浴室は障害者がリフトを用いて入浴が出来るようになっています。源泉掛け流しのお風呂は筋肉をほぐしリハビリの効果も満点です。



お部屋もバリアフリーの部屋が完備されています。
また、要望があればホームヘルパーが食事等の介助を行う事もできます。
京都からは車でおよそ3時間。
普段お家から出たことの無い方も冒険をしてみたいはいかがですか？

有限会社 おとくに福祉研究所
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824
長岡京市天神4丁目7-12 ハイツ東台101号
TEL 075-958-2560
FAX 075-957-2808
E-mail kyoto-care@club.email.ne.jp